

菊ヶ浜海水浴場で離岸流が発生！

山口県菊ヶ浜海水浴場で、鹿児島大学水産学部西教授の立会いのもと、波打ち際6箇所に海面着色剤（シーマーカー）を投入し、流れの様子を福岡航空基地の航空機により離岸流調査を行いました。今回調査した結果、**5箇所で弱い離岸流が発生**することを確認しました。

<調査結果>

- ・6月12日に1回調査を行い、調査範囲の東側突堤付近（測点⑤）で、**最大約0.3m/s、約150m**沖まで流れる離岸流の発生を確認しました。（表1参照）

表1 海面着色剤投入箇所の最大流向、流速（上段）及び移動距離（下段）

※海面着色剤投入後約60分以内に観測された値

測点	①	②	③	④	⑤	⑥
離岸流発生の有無	有	有	有	有	有	無
方向	北向	北向	北方向	北西方向	北西方向	発生なし
速さ（最大値）	約0.03m/s	約0.05m/s	約0.1m/s	約0.2m/s	約0.3m/s	発生なし
到達距離	約50m	約80m	約100m	約130m	約150m	発生なし

<調査方法>

- ・海岸から海面着色剤を測点①から測点⑥までの6測点において散布して、海面着色剤が漂流及び拡散する状況を陸上及び航空機からデジタルカメラ等により撮影するとともに、目視及び画像により確認しました。



図1 海面着色剤投入箇所

(※図1から図5まで当庁航空機による画像)

<調査経過 1 >



図2 海面着色剤投入 5 分後 (11 時 20 分)

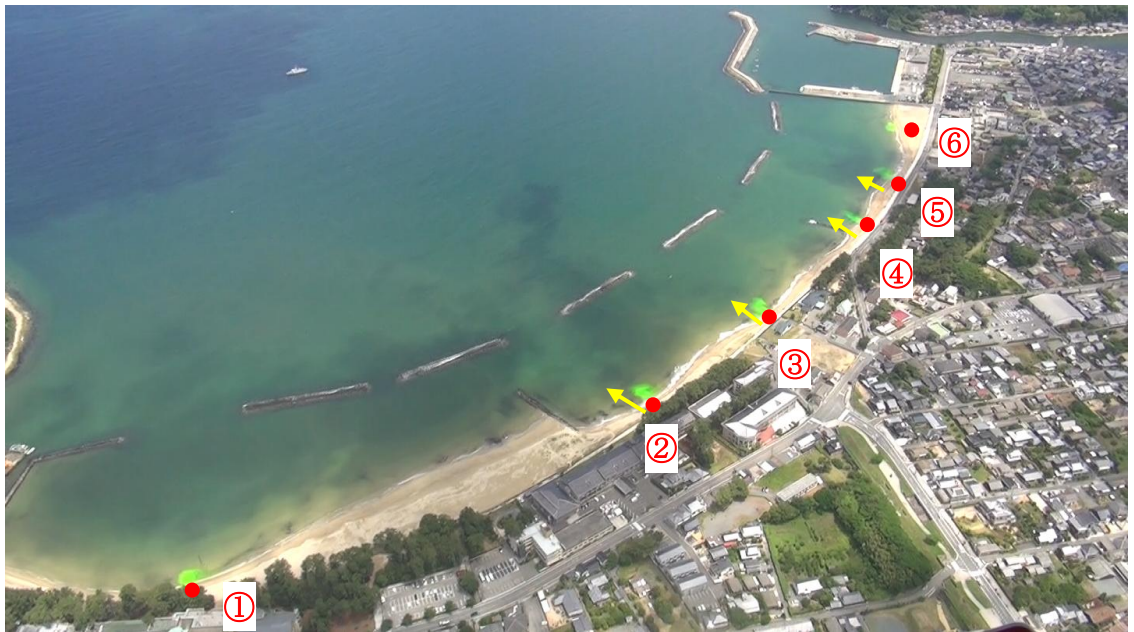


図3 海面着色剤投入 10 分後 (11 時 25 分)

<調査経過 2>



図4 海面着色剤投入 20 分後 (11 時 35 分)

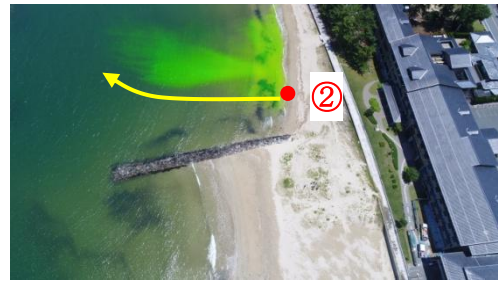


図5 海面着色剤投入 30 分後 (11 時 45 分)

<調査経過 3>



測点①：海面着色剤投入 39 分後



測点②：海面着色剤投入 40 分後



測点③：海面着色剤投入 37 分後



測点④及び測点⑤：海面着色剤投入 38 分後



測点⑥：海面着色剤投入 35 分後

(※いずれも鹿児島大学による提供画像)

<総評・まとめ>

本調査では、測点 6 箇所中、測点①から測点⑤において離岸流を確認しました。離岸流を確認した各測点は沖の離岸堤へ向かう流れであり、特に測点④は近傍の突堤に沿って沖の離岸堤へ向かう流れでありました。この離岸流はその後離岸堤と離岸堤の間を流れ出るものと思料されます。測点⑥については顕著な流れが確認されませんでした。

気象状況は、外洋から海岸にかけて比較的風がやや強い状況でありました。さらに強い風が吹くと、より顕著な離岸流が発生する可能性はあると思料されます。また、離岸流はこの海岸でも起きる可能性があり、防波堤や離岸堤など、流れを遮るものの付近では離岸流は発生しやすく、風向きなどの気象、波の大きさなどの海象状況も影響します。